

放送英語ニュースから学ぶコミュニケーション法

藤井章雄（早稲田大学）

言うまでもなく、放送英語ニュースはなんら特異なものではなくニュース英語の一部であり、その written communication 法は活字ニュースとほぼ共通している。私自身過去 40 年近くにわたり、送り手、受け手、及び、研究者として確認したところによると、放送ニュース英語の語法には活字ニュースにも大体当てはまるとされる「3本の柱」がある。まず、「逆ピラミッド型」のフォーマットであり、次に「即時性」重視のスタイルであり、そして、常に clarity(明快さ)を志向するアプローチである。英米の専門書やデスクブックは、それぞれの立場から数多くの suggestions を行っているが、この「3本の柱」に関する限り共通している要点であるように思えるのである。

逆ピラミッド型

逆ピラミッド型とは重要ポイントを記事の書き出し部分(リード)で報じるフォーマットのことであるが、放送、活字を問わず、英語ニュース記事のほぼ 90 パーセントがこの format で報道されているようである。送り手、受け手双方にとって便利なのがその理由であろう。送り手にとっては、活字ニュースの場合、整理部の割り付けに便利であり、放送ニュースの場合は、緊急のニュースなどを放送時間中に割り込ませることが可能であるからである。受け手にとっても、ニュースの要点が一瞬でわかるのでやはりこの型が歓迎されているのである。

即時性

メディアの性格から容易に想像できることであるが、即時性は放送ニュースの大きな武器である。放送時に事件が展開している場合などは放送ニュースが最も歓迎する状況であろう。そのような場合、放送メディアが好んで使用する動詞の時制は現在形であり現在進行形である。過去形を使用せざるをえない場合でも、“just a few minutes ago”などの表現を伴って用い、即時性を際立たせるのが放送ニュースのやり方である。ただし、常にそのような状況に恵まれているわけではない。そのような時に、放送メディア(特に、BBC)は、time element を明示せず、「時をぼかす」手段として現在完了形を使用することがしばしばある。これも、即時性重視の方策であろう。

CLARITY 志向

Clarity とは「明快さ」、つまり、分かりやすいことである。勿論、活字ニュースもこの clarity を常に志向しているのだが、反復読みが可能な活字とは異なり音の流れとともに一瞬で完結する放送ニュースにおいては、そのニュース・メッセージは特に Clarity が要求されている。そのため、放送メディアは実に様々な工夫を凝らしてニュースを作成している。いくつかをとりあげたい。

(1) Brevity —— ひとつの文章の語数が以前は 25 語以内なら許容範囲であったようだが、

最近では、簡潔化への傾向に拍車がかかっており、one sentence が平均 10 数語で構成されている放送ニュースをしばしば耳にする。次の CNN ニュース(2002 年 6 月 23 日)もその一例であり、全文が 5 つの文章で構成され、その総語数はわずか 58 語で、各文は 11 語—10 語—12 語—10 語—15 語であり、平均語数はわずか 11.6 語である。”In Iran, a powerful earthquake has killed at least 500 people. More than 16-hundred people are injured and thousands are homeless. The epicenter of the quake was about 140 miles west of Tehran. The quake had a magnitude of as much as 6.3. One official says more than half of the houses in some 20 villages were destroyed.”

(2) Transitions ——— いわゆる”flow” (流れ) のことである。各センテンス・レベルの流れだけでなく、パラグラフの流れ、及び、ニュース全体の流れが問題とされる。各センテンス・レベルでは、同格・倒置文の使用、動詞を畳み掛ける語法などがその工夫だが、これはアナウンサーの力量に負うところが大きい。アメリカの専門書によると、パラグラフとニュース全体に流れを導くためには、and, but, however, insteadなどを効果的に使用することや、in a related development などや、elsewhere in the oil picture (原油関係ニュースが連続する場合)、また、finding it easier to travel tonight (人事往来ニュースが連続する場合)などの表現を用いて関連事項をうまくまとめる方法が提案され、meanwhile, meantime, on the other hand などの story transition device を安易に用いないように強調されているが、現実には、そのような表現を BBC や CNN などのニュースでもしばしば耳にする。

(3) Names and Pronouns ——— 日本語の放送ニュースとはかなり慣習が異なる。事故のニュースなどで、重要でない人名は一切報じられないままニュースが完結することもしばしばある。時の流れに従って伝えられるため肩書が人名に先行するが、これは日本語放送ニュースと同じである。一方、活字英語ニュースにおいては、he, she, they, などの代名詞はひんぱんに用いられるが、放送ニュースでは極めて慎重に使用される。同一ニュースに複数の登場人物が存在する場合はなおさらである。登場人物が一人のケースでも、「途中から参加した視聴者」は、代名詞が繰り返されると、ニュースの最後まで一体誰のことなのかが分からないこともありうるのである。次の BBC World のニュース (2001 年 4 月 16 日) は、人物報道において下線部分に見るように、お手本ともいふべき事例である。代名詞 she が一度しか使用されていないことに留意したい。

“Officials at the Imperial Palace in Japan say the wife of the heir to Japan’s throne may be pregnant. According to the palace, Crown Princess Masako is showing signs that she could give birth in November.”

(4) Quotations and Figures ——— 放送ニュースが活字ニュースと比べて明らかにハンディキャップを持つのが「引用」と「数字」に関する報道であろう。新聞は quotation marks を自由に使用できるし、反復読みが可能なため、細かい数字にもそれほど神経をとがらせる必要がないからである。引用に関しては、最近の放送ニュースは、以前のように”He said, quote . . . ”方式の報道を行わず、”as he put it . . .”とか”This is a direct quote . . .”あるいは”what one describes as . . .”とか”what one calls”などの表現を多用している。数字に関しては、概数が

しばしば使用されている。

(5) Informality —— 「くだけた語り口」も放送ニュースの大きな特色である。英米の放送ジャーナリストは「受け手」に肩が凝らずに聴けるニュースを提供することを一種の使命とさえ考えているのではないかと思えるほどである。このアプローチはアメリカの大学のジャーナリズム学部などでも強調されている。しかしながら、私の知る限り、それを導く具体的な技術を紹介している専門書はほとんどない。isn't, haven't などの contractions を挙げているのみである。ところが、*The AP Broadcast News Handbook* は、”Another key to informality is to vary the lengths of your sentences. After a long one, write a short one. Keep the lengths mixed up, and keep the pacing appropriate to the story.”と指摘している。それを見事に実践しているように見えるのが次の CNN ニュース（2001年12月1日）である。6つの文章で構成されているが、各文の語数は4-11-4-13-15-6で、一番目の文、3番目の文、及び、最後の文の語数が極端に少なく、このニュースに informality を導いているのである。日本人が英語を書く場合にも参考になる技法であろう。

A princess is born.

Japan's Crown Princess Masako has given birth to a much anticipated child. And it's a girl. She's the firstborn of Princess Masako and her husband, Crown Prince Naruhito.

Unless Japan changes its rules of succession, she will not ascend to the Chrysanthemum Throne. That right is reserved for males.